



『失敗』は恥ずかしい？

未就学児の世界に『恥ずかしい失敗』はありません。未就学児に「失敗したら恥ずかしい」と教えるのは大人です。コマをうまく回せない子どもに向かってに、ヘラヘラと笑いながら「あー、また失敗しちゃった。うまくいかないね、がんばれ」と言うくらいなら、真剣な表情で「どこが難しい？私もやってみるね」と話し、動きを確認しながら一緒に考える方が何倍も有益です。もちろん、子どもがいわゆる「失敗」をすることも、危ない行動（または、してはいけない行動）をすることもあります。その時に「失敗して恥をかかせた、あなたは最悪」「～をするなんて、お前は悪い子だ」「ダメな子だね」と『その行動をした子ども自体』を否定するのか。それとも、「そうじゃなくて、こうしてみたら？」「それはしてはいけない」と子どもの『行動そのものを指摘』するのか。この二つは大きな違いがあります。前者を繰り返せば、子どもは自分の価値を見失い、精神病理の様々なリスクを追うでしょう。お正月遊びは難しいチャレンジがたくさんありますが、恥ずかしい失敗ではなく、面白い挑戦がたくさんある素敵なお機会です。

園長 山田裕宇記